



土浦市長

安藤 真理子

大洗町の皆様、こんにちは。土浦市長の安藤 真理子です。爽やかな初夏の風が心地よいこの季節に、「ソト」から見た大洗の魅力をお話しできる機会をいただき、心より感謝申し上げます。

私たちが共有する大切な誇りの一つ、それは夜空を彩る「花火」ではないでしょうか。我が土浦市が誇る「土浦全国花火競技大会」は、大正時代から続く日本三大花火の一つであり、内閣総理大臣賞を懸けて全国の職人が技を競う「競技大会」の最高峰です。一方で、大洗町の「大洗海上花火大会」もまた、ふるさとの夏を象徴する素晴らしい光の祭典です。海面に映り込む鮮やかな光の粒子と、大迫力の音。水辺を持つ街だからこそ実現できるあの幻想的な光景は、土浦の花火とはまた異なる感動を私たちに与えてくれます。花火を愛する心は、場所はどう違えど一つに繋がっていると感じています。

また、両市町は「アニメの聖地」としても全国から注目を集めています。大洗町が『ガールズ&パンツァー』のファンの皆様を家族のように温かく迎え入れ、キャラクターパネルが並ぶ商店街を中心に街全体で作品を育んでいる姿は、私たち自治体にとって最高の見本です。

土浦市でも、人気作品『機動警察パトレイバー』と連携したまちおこしに力を入れております。特に、作中の機体「イングラム」などを描いた特製デザインマンホールの設置は、足元から街を彩る新たな試みとして多くのファンを惹きつけています。

両市町の共通点としてサイクリングも外せません。土浦市を拠点とする「つくば霞ヶ浦りんりんロード」は、日本を代表するサイクルルートとして国が指定する「ナショナルサイクルルート」に認定されています。そして大洗町には、潮風を浴びながら美し

略歴

1960年11月、茨城県土浦市生まれ。成城大学短期大学部を卒業後、日産自動車、大京などで勤務。1999年に高齢者介護のつくばケアサービス(現・ブラザマム(株))を設立。2007年に土浦市議会議員に当選。その後、土浦市議会議員(2期)、茨城県議会議員(2期)を経て、2019年に土浦市長に就任。現在2期目。

い海岸線を駆け抜ける「大洗・ひたち海浜シーサイドルート」があります。それぞれの街が持つ素晴らしいルートは、水辺のまち同士を繋ぐ「絆」の道でもあります。

食の魅力も語り尽くせません。冬の王様「アンコウ」から、これからの大洗は、ぷりぷりの「シラス」や「岩ガキ」が主役となる心躍るシーズンですね。土浦自慢の「蓮根」や「飯村牛」といった大地の恵みと、大洗の豊かな海の幸。これらを共に楽しみ、分かち合える幸せこそが、茨城の魅力です。

大洗は、常に進化を続けながらも、変わらない人の温もりが息づく場所です。これからも、花火を愛する仲間として、そしてアニメを活用したまちづくりの先駆者として、大洗の皆様から多くのことを学びながら、共に茨城を盛り上げていけることを心より願っております。

「ソト」から見たおおあらいたでは、各界でご活躍の方々から大洗についてのご寄稿をいただきます。